



▲センターの屋外に設けられた見本園には、実際に石狩浜で観察できる海浜植物が植えられていて、間近で、生態について学習できます。

▲貴重な調査・研究フィールドでもある石狩浜。同センターはその拠点施設として、さまざまな研究機関のサポートをしています。今年は、全国最大規模を誇る「カシワ天然海岸林」の調査が、行われています。

見本園の苗作りをはじめ、はなますの丘公園内での植生調査や自然観察会でのガイドなど、あらゆる方面で、たくさんの市民ボランティアの力が生かされています。



▲石狩浜に自生する植物や野鳥を観察しようと、年に5回企画される「自然観察会」。最近では市内だけでなく、札幌からの参加者も目立つようになりました。「石狩浜子ども自然教室」もあります。

自然観察会
7月は10日(土)に開催予定。ハマボウフウやノハナシヨウブの“花散歩”を楽しめそうです。

石狩浜海浜植物保護センター
弁天町48-1 ☎0133-60-6107

日没時刻予想

▼
7月1日 19:20
15日 19:14
31日 18:59

石狩温泉 番屋の湯
弁天町 ☎0133-62-5333

本町地区の飲食店情報

①～⑥は地図(P4)の各番号と対応しています。

- ① 鮭・鱒料理 あいはら 弁天町番外地 ☎62-3019
生の鮭にこだわり、「石狩鮭」はもちろん、「鮭しゅうまい」や白子料理も人気です。
- ② 旬金大亭 新町1 ☎62-3011
明治13年創業。「イクラの醤油漬け」や「ルイベ」など鮭料理が並ぶコースがおすすめ。
- ③ 民宿てらお 本町5-3 ☎62-4771
「鮭鍋」、刺身、山菜料理など家庭的なお料理が味わえます(夕食、朝食のみ対応)。
- ④ 民宿やまたま 親船町21 ☎62-3326
「サケチャーハン」や「サーモンスターキ」のほか、「石狩鍋とイクラ丼」のお得なセットも。
- ⑤ 山中牧場産 ソフトクリームミルキー 親船町22-15 ☎62-3690
ミルクの味がしっかり堪能できます。お店の一押しはバニラとの抹茶のミックス!
- ⑥ 石狩温泉 番屋の湯 味処「いしかり」 弁天町51-2 ☎62-5333
石狩産素材を存分に味わえる「番屋弁当」や、道産そば粉使用の更科そばも美味。
- ⑦ 焼鳥・焼物 手羽先 弁天町3-13 ☎62-5505
知床の地鶏を使用。焼き鳥のほかお土産に「若鶏の半身」も好評です。

◀「番屋の湯」の名物としてははずせないのが石狩の夕日。9月中旬ごろまで、露天風呂や2階の展望休憩室から間近に眺めることができ、地平線にドーンと落ちていくさまは実に壮麗。そんな幻想的な太陽のショータイムに、「お客様から一斉に拍手が起こることもあるんです」と、スタッフの井出さん。夕日の評判がクチコミで広がって一時は日没時間の問い合わせが殺到したこともあり、現在は1階ロビーに年間の日没予想時間を掲示しています。この勢いを受けてさらに今年は、「夕日フォトコンテスト」を開催する予定。

温泉は、「化石海水」と呼ばれる▶1千万年～数百万年前の海水で、茶褐色が特徴です。泉質はナトリウム塩化物強塩泉。大浴場には、高温湯(42℃)と低温湯(38℃)があり、女性にはジャグジーバスが好評。利用客は1日平均1,200人を数え、夕方のピーク時をはずせば、のんびりできるかも。



7月から9月にかけては毎日営業しています!
byスタッフ



◀これまで同温泉の定休日は、毎月第2と第4火曜日。ところが「休館日にも遠くからわざわざこの温泉を楽しみに足を運んで下さる方々がいらっしやいまして。何だかもう、申し訳なくて…」と話すのは、富樫支配人。そこで、今年から7～9月を無休に変更。「一人でも多くの方たちに石狩自慢の温泉に入ってもらいたい」と、スタッフ一同も大張り切り。夕日を眺めながら、心も体もジーンと温まること間違いなしです。

※営業時間等は各店舗にお問い合わせください。

私設資料館 石狩尚古社

本町3 問 ☎0133-62-3380

★見学ご希望の方は必ず自前にお問い合わせください。

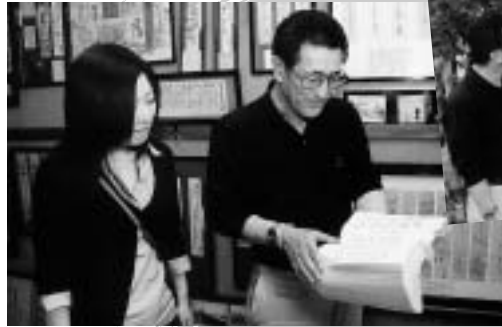


▲中島さんと父・勝人さんが私費を投じて作った資料館。「300年前の活気には今は残念ながら及びませんが、当時の暮らしや文化を紹介する、そのお手伝いをしていきたい。」



▲「石狩八景」

名古屋の俳人・青木竹涯が明治32年に石狩を訪ねた際に詠んだもので、上段右から「八幡秋月」「中洲落雁」「西濱夕照」「船場帰帆」「若生晴嵐」「高岡暮雪」「能量暁鐘」「弁天夜雨」。石狩の、古き懐かしき情景が心に浮かんでくるようです。



▲遠くは沖縄(当時は琉球)からも俳句が寄せられたという『尚古集』。中島さんが手にしているのは届いた俳句3,500余りをすべて書き写した元本で、この中から道内・道外の知名な俳人たちが選句し、『尚古集』として明治35(1902年)にまとめ上げました。



▲呉服商として栄えた中島家に残された膨大な資料を整理する4代目・中島勝久さん。句歌の書かれた短冊なども数多く所蔵し、最近になって、その中から与謝野晶子自筆の歌が発見されたそうです。



▲ハマナス

バラ科のハマナスが咲くころ、あたりは香水のような優雅な香りで満たされます。開花期は6月中旬～9月。公園には約180種類の植物が自生し、7月はエゾスカシユリやエゾカワラナデシコが見ごろです。



▲まちを囲む山々の名前が一目でわかります。今年5月からセンター2階に展示。

はまなすの丘公園 ヴィジターセンター

浜町番外地 問 ☎0133-62-3450



▲公園をぐるり360度見渡す2階には4台の望遠鏡が設置され、石狩の景観を間近に楽しむことができます。



▲ハマナスの香りもやさしい、ほんのりピンク色のハマナスソフトクリーム。もちろん、ここでしか味わえない逸品です。

▲はまなすの丘公園

石狩川河口左岸に形成された砂州で、1,500mに渡ってなだらかな丘が広がっています。木道を通して自然散策を楽しめますが、総敷地46haのうち16.5haは海浜植物の保護区域に指定されています。

注意 公園内に限らず、海水浴シーズンになると決められた道を歩かない人がいます。大切な自然を守るため、より一層のご協力をお願いします！



▲石狩灯台